立体成形しても、模様が消えない

ホログラム

細線・箔・マットで多彩な表現が可能

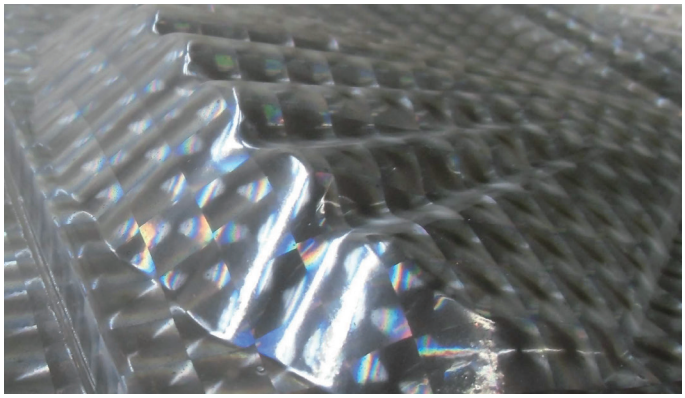
強弱のある形状でも模様が残る

ホログラムが消えてしまうのはなぜ？

ホログラムは目に見えない細かな溝によって
起こる屈折を利用しているため、材料が伸縮する
成形加工を行うと、模様が消えてしまいます。

しかし、弊社では

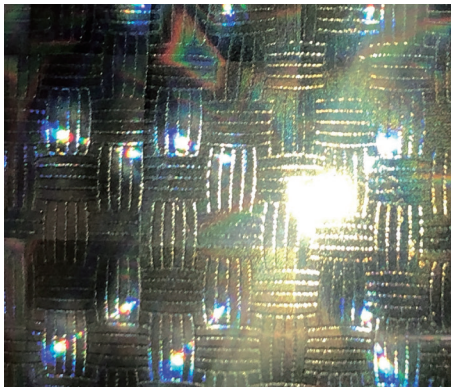
立体成形が難しいとされている
ホログラムの成形加工が可能です。



多彩な表現の組み合わせも可能

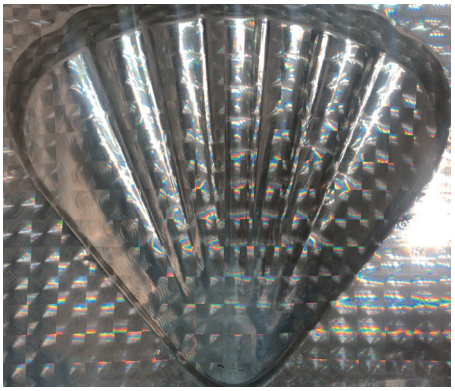
ホログラムに、細線・箔・マットを組み合わせると、ニュアンスの違う輝きを表現できます。

ホログラム＋細線



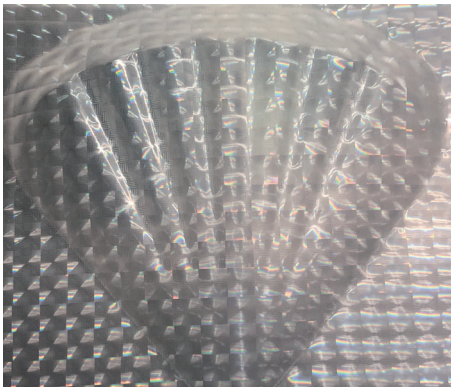
細線の拡散効果により、
透過時の輝きを強めます。

ホログラム＋箔



鏡面性の高い箔により、
反射時の輝きを強めます。

ホログラム＋マット



マットが光をやわらげ、
透過時の輝きが穏やかになります。

特長

成形
可能
立体形状でもホログラムが残る

量産実績
あり
アミューズメントの加飾部品として採用

小ロット
対応
小ロット対応が可能

株式会社東洋マーク　ご興味がありましたら、弊社営業担当者にお気軽にお問い合わせください。
本社工場〒392-0015 長野県諏訪市大字中洲 5465　第二工場〒392-0015 長野県諏訪市大字中洲 2949
☎0266-52-1470　https://toyo-mark.com/　HPからのご相談も可能です